

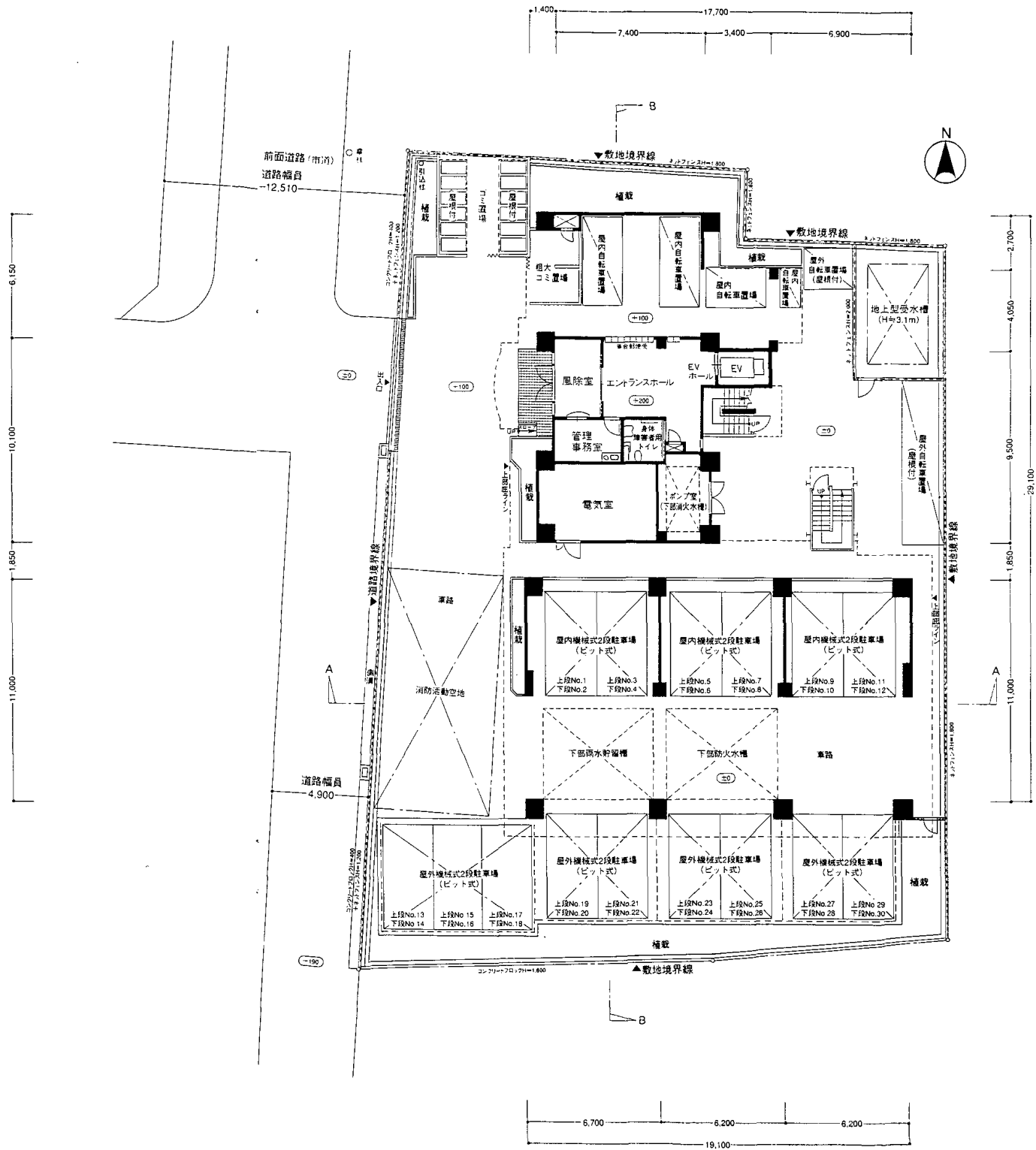
敷地配置図

1階平面図

縮尺率: 1/200

敷地配置図・各階平面図・立面図・断面図・各タイプ図・部分図共通事項

- 各戸の専有部分の登記簿面積は、内法計算により算出されますので、壁芯計算によるタイプ別表示専有床面積より減少します。
- タイプ別表示専有床面積の計算には、パイプスペース、(P.S)面積を含む壁芯計算により算出されておりますが、廊下側メーターボックス兼パイプスペース(M.B・P.S)面積は含まれておりません。
- 縮尺率はそれぞれ異なります。また、印刷の都合上多少異なる場合があります。長さの単位はすべてmmで表示しています。
- これらの図面は、施工上の都合により多少変更する場合があります。
- 各図面の詳細寸法、構造、正確な方位などについては、設計図書でご確認ください。
- H=○.○mを示す地上線は、造成未了のため、多少異なる場合があります。
- CHは天井高(数値は下り天井・梁下の最低確保寸法)を示します。
- 各設備、施設の設置位置や各寸法は、施工上の都合により、多少変更する場合があります。
- 量数表示は1単位を1.62㎡とし、壁芯取付にて、計算しております。
- ※その他の詳細については、株式会社大東・大阪支店事業部建築課の設計図書をご覧ください。





地下ピット式駐車装置シリーズ

2段方式(昇降・ピット式)駐車装置

地下パーク2N

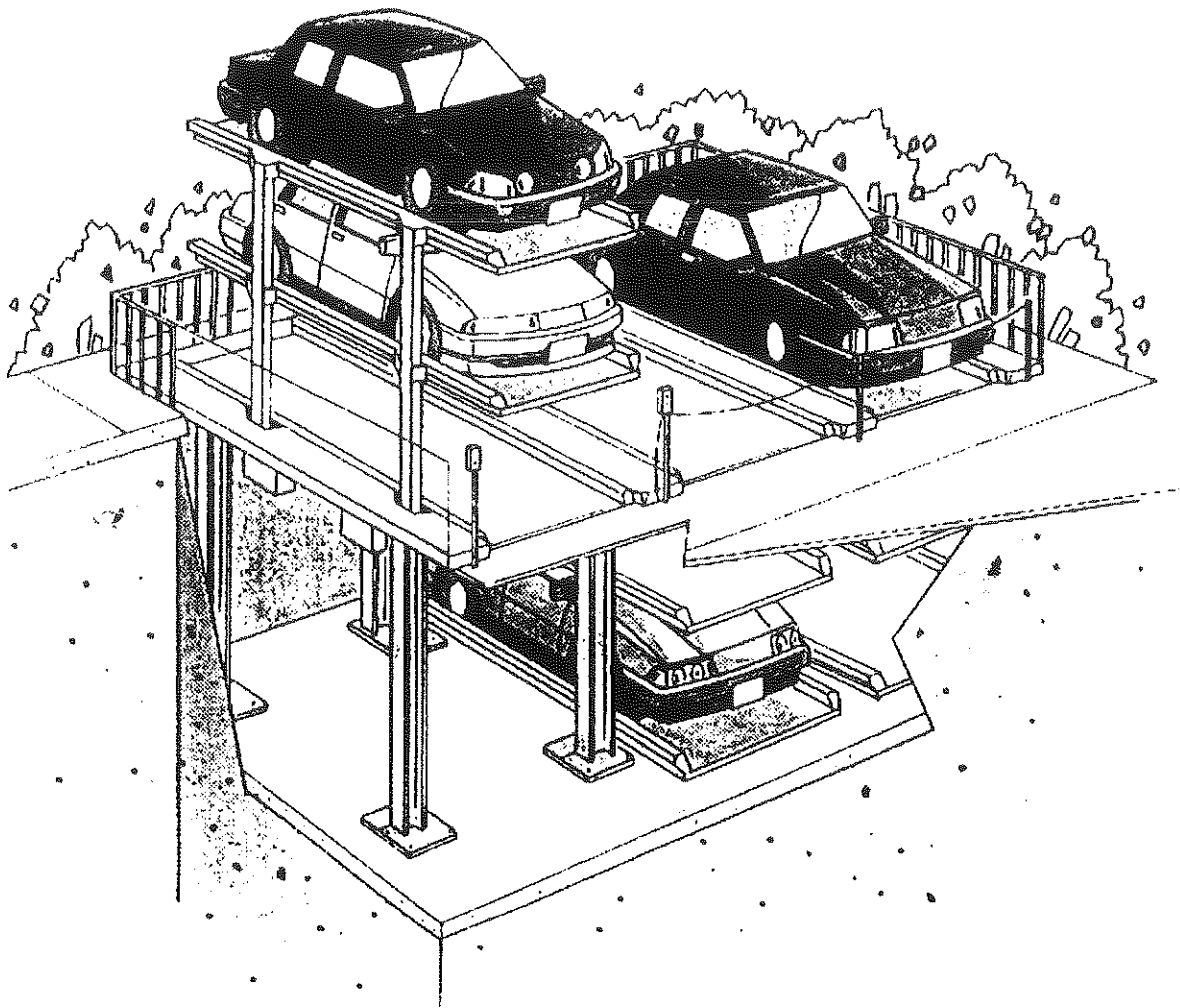
建設大臣認定番号 第20804号
BL認定番号 PAS0396

3段方式(昇降・ピット式)駐車装置

地下パーク3N

建設大臣認定番号 第11119号
BL認定番号 PAS0396

取扱説明書



まえがき

このたびは極東開発の駐車装置(極東パーク2N/3N)をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

この取扱説明書は、極東パーク2N/3Nを初めてお使いいただく方にも、既にご使用になられたご経験をおもちの方にも知識や経験を再確認する上でお役に立つものと考えております。この取扱説明書をよくお読みになり、装置を充分理解された上でご使用くださいますようお願い申し上げます。

また、常にこの説明書を手元におかれて操作されることをおすすめ致します。

装置を安全にご利用いただくために正しい取扱いが必要です。

ご利用の前に必ず本書をお読みください。

△ 警告 **△ 注意** は特に重要な事項です。必ず守ってください。

本書の中で使用されている記号は次のようになっています。

△ 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される場合。
△ 注意	取扱いを誤った場合、使用者が負傷を負う可能性が想定される場合、および物的損傷の発生が予想される場合。

お買い上げの製品または、この取扱説明書の内容につきまして、ご不明な点がございましたら、本書巻末の『お問い合わせ先』までご連絡ください。

また、装置に異常がある場合には、管理者または『異常時連絡先』までご連絡ください。異常時連絡先については、装置の操作盤付近に表示しています。表示がない場合は管理者にご確認ください。

目 次

1. 必読！厳守事項	4
入庫できる自動車	4
車両の出し入れ	4
装置の操作をしてはいけない時	6
装置操作時注意事項	6
その他禁止事項	7
保守点検の実施	7
ワゴン車等の収納について	7
台風・大雨時の注意とお願い	8
2. 日常の管理	9
日常の維持管理	9
火災注意	9
3. 各部名称	10
装置各部の名称	10
操作盤各スイッチの名称	10
4. 入出庫の手順（操作説明）	11
中段または下段パレットへの入出庫	11
上段パレットへの入出庫	12
パレットへの駐車の方法	12
光電センサ（オプション）について	13
5. 異常時の処置	14
6. 保守点検およびお問い合わせ先	15
保守点検およびお問い合わせ先	15
異常時連絡先	15

1. 必読！厳守事項

基本的な！ **△ 警告** **△ 注意** 事項

極東パーク2N/3Nを操作するとき、または日常管理の際に必ず守ってください。

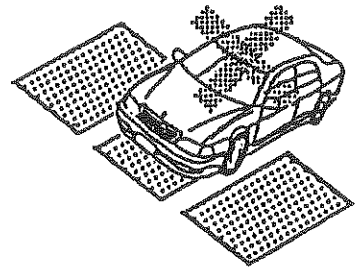
入庫できる自動車

車両の制限は守ってください！

入庫できる車両のサイズと重量は装置の操作盤付近に表示しています。必ず車検証で収容できるサイズ・重量であることをご確認のうえ、入庫してください。

リヤタイヤ装着の車両は、タイヤのはみ出している寸法は車検証の寸法には記載されていません。またドアミラー寸法も車検証の寸法には含まれていません。

オプションパーツ装着車や改造車、ルーフキャリア、アンテナ、格納できないドアミラーなど付属品がついたものはそのまま入庫できるかどうか調べてください。



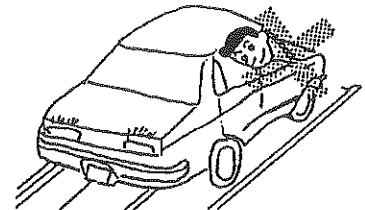
車両の出し入れ

装置内への出入りは車両の運転者だけ！

装置内には管理者と運転者以外は入らないでください。同乗者や幼児、荷物などは、必ず入庫前に降ろしてください。

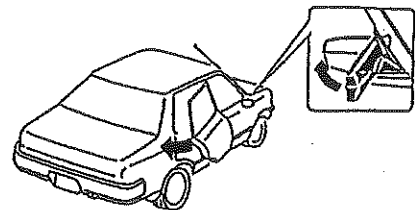
入出庫運転中は頭や手を出さない！

支柱などにあたって「ケガ」をしますので車両から頭や手を出さないでください。



ドアミラーやアンテナは必ず格納！

入出庫中または装置作動中に破損する場合がありますのでドアミラーやアンテナは格納してから入庫してください。

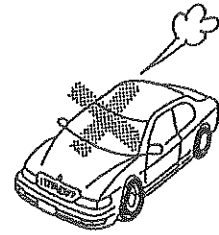


入庫は後進でゆっくりと！

装置の故障につながりますので前進入庫は厳禁です。

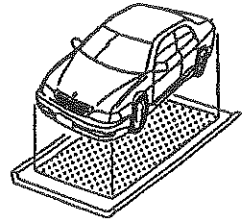
急発進、急停車はしない！

事故や装置の故障につながります。入出庫はゆっくりとおこなってください。



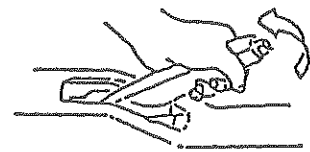
駐車はパレット中央で正しい位置に！

後輪を後方タイヤストッパーにあてて車両がパレットと平行になるように中央に駐車します。正しい位置に駐車しないと車両や装置を破損します。



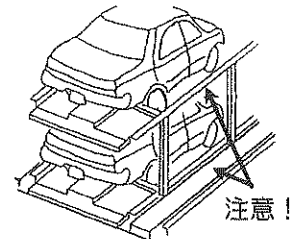
パーキングブレーキを忘れずにかける！

事故や車両の破損につながりますのでパーキングブレーキは忘れずにかけてください。



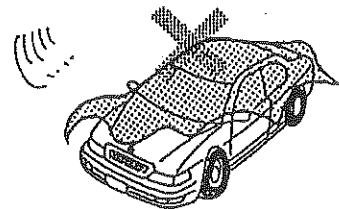
足元と頭上に注意！

装置内では歩行ステップ上を歩いてください。
車へ乗り降りするときは、足元と頭上に注意してください。



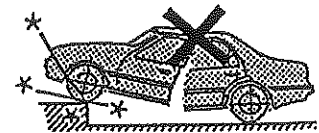
ポテカバーは使用しない！

カバーが装置に巻きこまれて事故を招く恐れがあり、使用厳禁です。



パレット面と乗込面の段差に注意！

パレット面と乗込面の段差が30mm以上ある場合は調整が必要です。入出庫を中止して『異常時連絡先』まで連絡してください。



積雪や凍結時には入出庫しない！

車のスリップによる事故や装置の故障につながる恐れがありますので、車両の入出庫や装置の操作はしないでください。

装置の操作をしてはいけない時

人が車両に乗ったまま操作しない！

必ず空車にしてください。

装置内や付近に人や動物がいるとき！

注意を喚起して除去してください。

積雪および強風時！

事故、故障の原因となりますので、車両の入出庫および操作をしないでください。

地震やその他災害時には操作しない！

操作中に揺れや災害が発生したときはただちに装置からはなれてください。

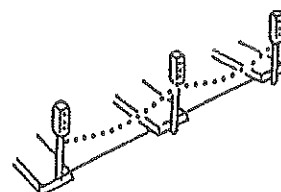
装置操作時注意事項

取扱説明書を読んで操作を理解していること！

操作の中で不明なところは納得するまで聞いてください。その節は、巻末の『お問い合わせ先』までおたずねください。

操作は装置から離れて！

操作するときは、防護チェーンをかけてご自身と周囲の安全に十分に気を配ってください。



危険を感じたらすぐ停止！

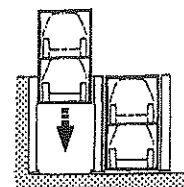
人や動物・物品が侵入したときや、異常な音・振動などを感じたときはただちにスイッチボタンから手を離してください。

→『入出庫の手順（操作説明）』参照（11ページ）

上昇したパレットは必ず完全に下げて！

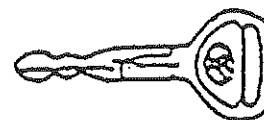
入出庫のために上昇したパレットは、完全に停止するまで下降してください。

→『入出庫の手順（操作説明）』参照（11ページ）



操作が終了したらキーは忘れずに抜くこと！

いたずら防止や安全管理のため、必ず守ってください。



装置の指示・操作ラベルは明瞭に保つ！

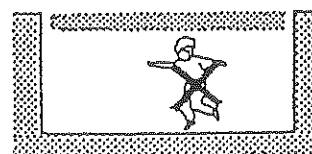
ラベルが外れたり、文字が読みにくくなったりしたものは、交換しなければなりませんので、巻末の『異常時連絡先』までご連絡ください。

その他禁止事項

ピットの中へ絶対に入ってはいけない！

ピットの中は危険ですから絶対に入らないでください。

物を落とすなどしてピット内に入る必要があるときは、管理者または『異常時連絡先』までご連絡ください。



装置の改造は厳禁！

安全上問題になることがありますから一切厳禁です。

駐車以外の目的での利用は厳禁！

装置内での洗車や車中での休憩または倉庫・物置代わりの利用は危険ですから絶対にしないでください。

乗用車以外の駐車は厳禁！

事故や装置の故障につながりますから、四輪乗用車以外の車両を入庫しないでください。2輪車やトラックは絶対に駐車しないでください。

保守点検の実施

保守点検を実施してください。

装置を永く良好な状態で安全にお使いいただくために、弊社との保守点検契約をご締結ください。→『保守点検およびお問い合わせ先』参照（15ページ）

ご自身での点検・修理は大変危険ですので絶対にしないでください。

ワゴン車等の収納について

この装置の上段にワゴン車等（ワゴン、ワンボックス、RV車）の車高が大きい車両を駐車させる場合は、次の事項を遵守してください。

強風時（目安として風速 15m 以上）にはこのワゴン車等を収容したまま上昇操作を行わないでください。

装置を使わないときは必ず定位置（上段が乗込面にある状態）にしておいて下さい。

制限重量・高さを厳守してください。

台風・大雨時の注意とお願い

天気予報などにより、台風や強風をともなう大雨が予想される場合は、あらかじめ車両を出庫させておき、装置の操作はしないでください。

緊急のため、やむをえず強制的にすべてのパレットを上昇させる場合は「隣接インターロック解除キー」にて隣接する装置間のインターロックを解除する必要があります。

隣接インターロック機能→「入出庫の手順（操作説明）」を参照（11ページ）

下記の操作手順ならびに注意事項をよくお読みの上、安全に操作していただきますようお願いいたします。

- ✓ 周囲の安全を充分に確認してから操作してください。
 - 入出庫中の車両はないか？
 - 装置内または付近に人がいないか？
- ✓ 強風時（目安として風速15m以上）の操作は危険ですから絶対にしないで下さい。また、強制上昇中にも気象の変化により強風状態となる恐れがありますので、上段パレットの収容車両は出庫させてから操作してください。
- ✓ 強制上昇中は装置内に立ち入らないようにしてください。
- ✓ 万一ピットが浸水した場合は漏電による感電の恐れがあるため装置に近づかないようにし、操作盤など装置には絶対に触れないでください。

隣接インターロックの解除

- ① 操作盤背面の「隣接インターロック解除キースイッチ」にインターロック解除キーを挿込み、右へまわしてください。

通常操作の操作キーとは異なります。

隣接インターロック自動解除機能（オプション）付の場合はピット内排水ポンプの満水センサから信号を感知すると、自動的にインターロックが解除され、回転灯が作動します。

- ② 通常の操作手順により各パレットを上昇させてください。

操作手順→「入出庫の手順（操作説明）」を参照（11ページ）

強制上昇中は操作キーを抜くことができないため、操作盤数のキーが必要です。

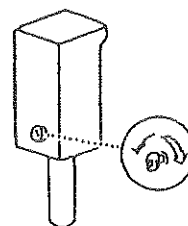
パレットは中段（パーク2Nは下段）上昇定位置で停止させてください。上昇定位置以外ではパレット落下防止装置が正常に働かないため危険です。

- ③ 強制上昇の必要がなくなった場合は速やかにパレットを元の位置（上段パレット入出庫位置）に戻してください。

ピットが浸水していないことを必ず確認してから操作してください。

- ④ 「隣接インターロック解除キー」を左へまわしてキーを抜いてください。

操作キースイッチも忘れずに抜いてください。



2. 日常の管理

装置を永く良好に故障のない状態でお使いいただくためには、弊社との保守点検契約以外に、駐車場管理者またはご利用者の方々でできる範囲内で装置の維持管理をしてくださいますようお願いいたします。

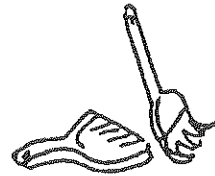
日常の維持管理

△ 注意

ピット内に『ゴミ』が侵入しないように！

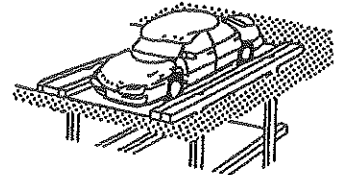
パレット床面のゴミ（落葉、ビニール、紙、ひも等）は、除去して装置のトラブルの原因にならないようにしてください。

<ピット内には絶対に入らないでください>



積雪のときは除雪して！

雪による過剰な荷重が装置にかかり、作動不良の原因になりますので早めに除雪してください。除雪時にピット内に雪を落とさないでください。



パレット床面のスリップは危険！

床面に、油類・雨水・落葉・積雪があるときは、除去してご使用ください。

装置はいつも正常に保守して！

装置の各部分に破損や緩みなどが生じたら、早めに管理者または『異常連絡先』までご連絡ください。

安全装置はいつも正常に維持して！

パレットなど作動装置に関する各検知装置に不良が発生すると、装置は停止します。その他、回転灯（オプション）・ブザー（オプション）などが故障の時も、管理者または『異常時連絡先』までご連絡ください。

火災注意

火気厳禁！

装置内とその周辺は火気厳禁です。タバコの火にも注意してください。

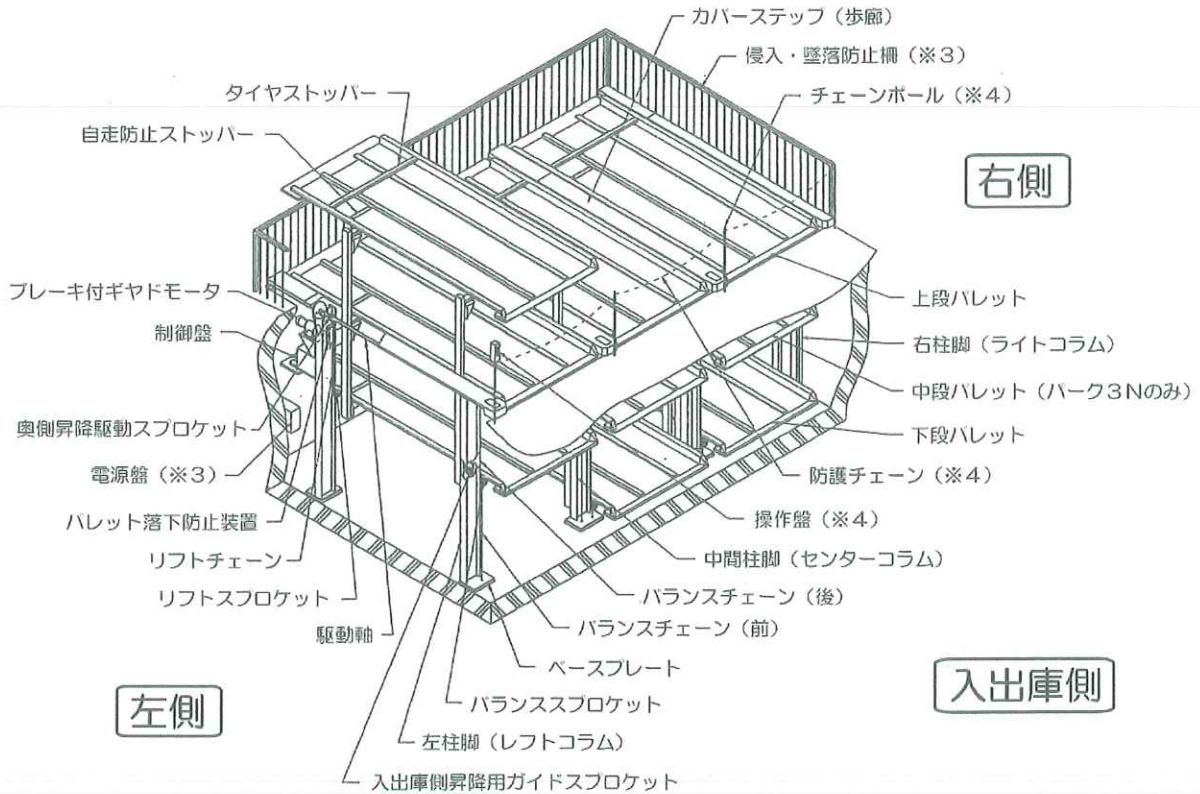


もし火災になったら！

万一の事態を考えて、消火設備の場所、使用方法などの理解をしておき、消火活動が充分行えるようにしてください。

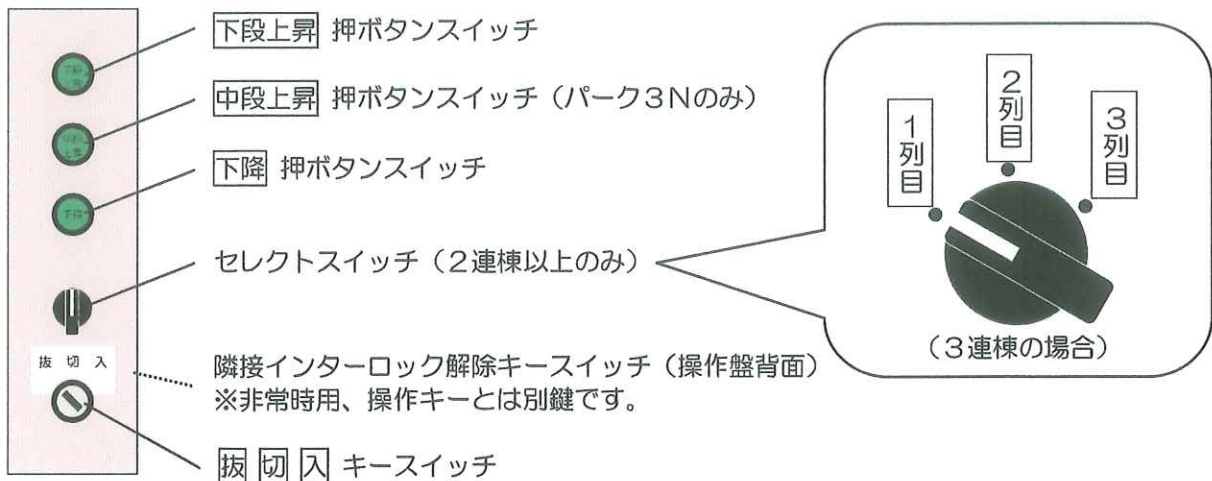
3. 各部名称

装置各部の名称



- ※1 この図はパーク3N・3連棟で左端の中段ハレットを地上位置まで上昇させ入出庫が可能な状態を示します。
- ※2 この図の中には一部オプション仕様のものも含まれています。
- ※3 イラストのため、外観形状などが実際とは異なります。
- ※4 仕様により操作盤・チェーンボールの取付けスパン、本数が異なります。

操作盤各スイッチの名称



4. 入出庫の手順（操作説明）

中段または下段パレットへの入出庫

① 安全を確認します。

△ 警告 次の場合は絶対に操作をしてはいけません。

- ✓ 装置内や入口付近に人や動物がいるとき。 →人や動物がはなれてから！
- ✓ 防護チェーンが外れているとき。 →声をかけて安全確認！
- ✓ 車両が入出庫しているとき。 →入出庫が終わってから！
- ✓ 装置の作動に支障がある障害物等があるとき。 →障害物等を撤去してください！
- ✓ 積雪および強風時。 →気象が回復してから！



例: 3列目を操作するとき
(3連棟の場合)

② キースイッチにキーを挿込み、**入**位置にまわします。
操作ボタンの照明が点灯します。(仕様により異なります。)

③ セレクタスイッチを入出庫対象パレットの列に合わせます。
(仕様により、2列から4列のものがあります。)

④ **下段上昇**または**中段上昇**ボタンを押します。
機械が自動的に停止するまでボタンは押しつづけます。
指をはなすと装置は停止します。



△ 警告

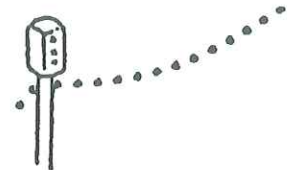
- ✓ 「危険」や「異常」を感じたときはただちに指をはなしてください。
- ✓ 非常時以外は必ず自動停止位置まで操作してください。
- ✓ 下降操作から中段パレットを途中停止した状態での入出庫はしないでください。

MEMO

隣接機が動いているときや、完全に定位置にないときには隣接インターロック機能が働き、ボタンを押しても動きません。→「隣接インターロックの解除」参照（8ページ）
また、仕様により複数の操作盤間での同時運転ができない場合もあります。

⑤ 防護チェーンを外し、車両の入出庫をします。

⑥ 防護チェーンを元の位置にかけ、安全を確認します。 **△ 警告**



⑦ **下降**ボタンを押します

機械が自動的に停止するまでボタンは押しつづけます。

⑧ キーを**抜**にして抜き取ります。

パレットが完全に定位置にないとキーは**抜**位置までまわりません。

上段パレットへの入出庫

(通常、装置の操作は必要ありません。)

防護チェーンを外して入出庫し、防護チェーンを元の位置にかけます。(安全確保)

パレットへの駐車の方法

△ 注意

① 同乗者や荷物を降ろし、ドアミラーやアンテナなどを格納します。

② 車両は後進でゆっくりとパレットにいれます。

ドアは閉めたまま。頭や手を出さないでください。

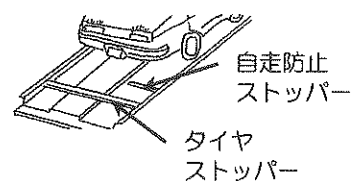
急なアクセル、ブレーキ操作はやめてください。

後方と周囲の安全を確認してください。

装置の柱に車体があたらないように間隔をとってください。

③ 後輪タイヤを「タイヤストッパー」にあてて駐車します。

自走防止ストッパーを乗り越えてタイヤストッパーに後輪をあててください。



④ パーキングブレーキをかけてエンジンを停止します。

⑤ 車からおりてドアなどに施錠します。

半ドアに注意してください。

⑥ 車両がパレットの中央にあること、車両の前後がパレットより「はみださない」ことを確認します。

△ 注意

- ✓ タイヤチェーンやスパイクタイヤを装着したままの入庫はパレットを損傷しますのでやめてください。
- ✓ ボデーカバーは装置に巻きついて事故につながりますから使用しないでください。
- ✓ パレットのオイルやゴミはスリップの原因になりますので除去してください。
- ✓ 積雪や凍結時の入出庫はスリップして危険ですのでやめてください。
- ✓ 車両全長が制限値内であっても収容できない場合があります。このような場合はタイヤストッパーの位置を調整する必要がありますので『異常時連絡先』までご連絡ください。但し、車種によっては調整不可能な場合があります。

光電センサ（オプション）について

装置各部（前、後、天井）に設置された光電センサの働きにより、パレットを途中で停止させたり、作動できなくしたりするための安全装置です。

- 前・後センサ パレット上昇または下降中にセンサを遮断すると停止します。
- 天井センサ パレット上昇中にセンサを遮断すると停止します。

△ 警告 △ 注意

- ✓ 車両の形状によりセンサを遮断できない場合がありますので、操作時は必ず目視確認をしてください。
- ✓ サイドブレーキのかけ忘れなどによりパレット作動中に入庫車両が移動してセンサを遮断してしまった場合は、危険ですからすぐに『異常時連絡先』まで連絡してください。
- ✓ 装置仕様により、光電センサの取付け位置および取付け数が異なりますのでご使用前に必ずご確認ください。

5. 異常時の処置

装置が動かない現象をとりあげて、その主な原因と処置方法をまとめたものです。
状況を判断して対応してください。

現 象	主な原因	対 処
上昇しない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 隣接機のパレットが上昇したままになっている。 ● パレットが少し浮いている。 	○ まずパレットを完全に下げてから上昇ボタンを押してください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源が切れている。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 停電・ブレーカがとんでいる ➢ 操作スイッチの接触不良 ● 上・下限のリミットスイッチ作動不良。 ● リミットスイッチ部品不良。 	<p>△ 注意 使用中止!</p> <p>停電やブレーカがとんだときは通電したとき装置が作動しないように、電源スイッチは切ってください。</p>
下降しない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 人、物品および車両が光電センサを遮断している。(オプション仕様) 	○ 人および物品を除去、あるいは車両を出庫してください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 落下防止装置が出たまま。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 電磁石不良 (雨水浸入・通電していない) ➢ 落下防止フックの格納不良 	<ul style="list-style-type: none"> ○ パレット停止位置が ① 正常位置より少し下がった状態なら完全に上昇させてから再度下降させます。 ② 正常位置なら下降ボタンを2, 3回押してみます。
パレットの揺れが大きくなった。	<ul style="list-style-type: none"> ● ガイドローラの磨耗・あたり不良。 ● バランスチェーンの伸び 	
作動音が大きくなった。 上昇スピードが遅くなった。	<ul style="list-style-type: none"> ● 入庫した車両重量が制限以上ある。 ● ギヤドモータの不良。 ● グリス・オイル切れ。 	<p>△ 注意</p> <p>『異常時連絡先』に連絡してください。</p>
パレットが傾く。	<ul style="list-style-type: none"> ● チェーンの伸び。 ● スプロケットの磨耗。 	
操作キーが抜けない。	<ul style="list-style-type: none"> ● パレットが少し浮いている。 	○ パレットを完全に下げてください。

6. 保守点検およびお問い合わせ先

保守点検およびお問い合わせ先

保守定期点検のご契約は、お買い上げいただいた時点で、下記の弊社窓口で承ります。お買い上げの製品、またはこの取扱説明書の内容についてのお問い合わせも承ります。

兵庫県西宮市甲子園口6-1-45 〒663-8545
極東開発工業株式会社 特機事業部 サービス課
TEL 0798-66-1567 FAX 0798-65-7410

東京都大田区羽田旭町1-1 〒144-0042
極東開発工業株式会社 特機事業部 サービス課
TEL 03-5737-2276 FAX 03-5737-7797

○ ご注意

- ✓ 装置の保守点検について法的義務はありませんが、増車申請などのときに監督官庁から保守点検の有無について確認されることがあります。
- ✓ 装置の性能を永く良好に維持するため、弊社による保守点検契約をご締結ください。
- ✓ 大気汚染、粉塵、塩害などが装置の発錆や消耗を早め、悪影響を及ぼします。このような場所については、部品の交換時期が早くなることがあります。(ローラチェーン、チェーンホイール、各種ガイド、ゴム製品、リミットスイッチ、パワーリレーなど)
- ✓ 消耗品(各種潤滑油、ゴムパット、シールゴム、ヒューズ、電球など)

異常時連絡先

装置の操作盤付近に表示しています。表示がない場合は管理者にご確認ください。

製造元



極東開業工業株式会社

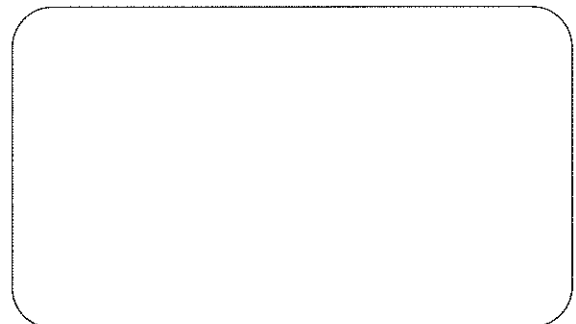
<http://www.kyokuto.com>

特機事業部

事業本部 〒663-8545 兵庫県西宮市甲子園口6丁目1-45
TEL. 0798-66-1567 FAX. 0798-65-7410

東京営業部 〒144-0042 東京都大田区羽田旭町1-1
TEL. 03-5737-2276 FAX. 03-5737-7797

大阪営業部 〒541-0053 大阪市中央区本町3丁目2-6 7-ハー本町ビル6F
TEL. 06-6121-7250 FAX. 06-6121-7251



Q-HB-P00001